

# 平成30年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	410	災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる
施策	413	地域で連携し、犯罪抑止力・対応力を高める
施策の目標	区民と区内事業者が連携した地域の力でさまざまな防犯対策に取り組むことにより、犯罪が未然に抑止され、すべての人が安全で安心な暮らしをしています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	体感治安について肯定的評価をした区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	20.0				22.0					26.0
実績	22.8									

  

指標名	刑法犯の認知件数									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	3,200	3,150			3,200					2,800
実績	3,172	2,844								

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
区内における刑法犯の認知件数は着実に減少し、区民の体感治安も向上していることから、防犯カメラの設置助成や客引き防止対策等の防犯対策事業の成果が現れています。しかし、いわゆる特殊詐欺被害が増加するなど犯罪の手口が巧妙化していること、また、区内観光施設も増えており、東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後ますます多くの来街者が見込まれることから、これまでの対策の改善を図りつつ、新たな事業についても積極的に取り組んでいく必要があります。	H28	86,319
	H29	97,945
	H30	

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	刑法犯の認知件数が毎年継続して減少していることから、着実な成果が見られる。

## 4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
○		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
東京オリンピック・パラリンピックに向け、より多くの来街者が見込まれることなどから、一層の安全・安心対策が求められており、既存事業については、より効率的に実施していく必要がある。		
【今後の具体的な方針】		
東京オリンピック・パラリンピックまでは、既存事業を着実に推進していくが、併せて、オリパラ後を見据え、「すみだ防犯センター」及び防犯カメラ設置・維持経費助成事業等の見直し検討を行う。		

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	安全・安心まちづくり推進事業	97,945	11,545	109,490	区民の防犯意識の向上を図るとともに、様々な主体が連携した地域における防犯活動を支援することにより、安全・安心なまちづくりを進める。	3,150件以下	改善・見直し
						2,844件	平成29年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							